

Fujitsu Software Open Innovation Days 2024

2024年1月26日(金) 13:30~17:30

ご案内



社会課題を解決し、次の世界へつなげていくためのソフトウェアテクノロジーをご紹介するイベントとして「Fujitsu Software Open Innovation Days 2024」を開催いたします。

世界各地で複雑化し混迷する情勢への対応を迫られ、持続可能な社会への変化を実現していくことが強く求められています。

ソフトウェアを技術者の皆さまと共に興すオープンイノベーションによって、社会課題に臨み、社会を支えていくために進化させていきたいという思いを込めて、昨年まで「Fujitsu Software DevTech Days」としてお届けしてきたアニュアルイベントを「Fujitsu Software Open Innovation Days」と改称いたしました。

今回は、当社のソフトウェアで実現した社会課題解決事例の共有や、これからの社会で活用が期待できるソフトウェアテクノロジーをご紹介いたします。

ソフトウェアで、社会を次の世界につなげる技術者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

Open Innovation(オープンイノベーション):

経営学者ヘンリー・チスブロー氏によって「組織内部のイノベーションを促進するために、意図的かつ積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの資源の流入流出を活用し、その結果組織内で創出したイノベーションを組織外に展開する市場機会を増やすこと」と定義されたイノベーションの方法論



富士通株式会社
ソフトウェアオープンイノベーション事業本部
本部長 粟津 正輝

■ 特別講演

特別ゲストとして作家・ジャーナリスト 佐々木 俊尚 氏をお招きし、ご講演いただきます。

講演タイトル「AIとDXによる情報テクノロジーは、日本の産業をどう変えるのか」

ぜひ、ご期待ください。

佐々木 俊尚 氏 プロフィール

1961年兵庫県生まれ。毎日新聞社などを経て2003年に独立し、テクノロジーから政治、経済、社会、ライフスタイルにいたるまで幅広く執筆・発信している。総務省情報通信白書編集委員。「Web3とメタパースは人間を自由にするか」など著書多数。Twitterのフォロワーは約78万人。東京・長野・福井の三拠点移動生活中。



作家・ジャーナリスト
佐々木 俊尚 氏

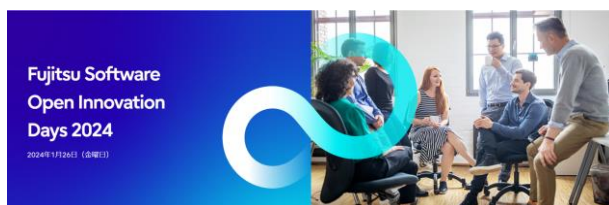
■ お申し込み情報・詳細情報

「Fujitsu Software Open Innovation Days 2024」特設サイトで講演内容や登壇者のご紹介、お申し込みを受け付けています。

開催に向けて、最新情報が随時アップされますので是非ご覧ください。

お申し込み期限 2024年1月26日(金)12時

ソフトウェアオープンイノベーション 2024



<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/events/open-innovation-days2024/>

■ 開催方法/お問い合わせ

会期 2024年1月26日(金) 13:30~17:30

参加方法 オンライン(Zoom)、事前登録制(無料)

主催/お問い合わせ 富士通株式会社

Fujitsu Software Open Innovation Days 2024 事務局

E-mail:contact-softwareconference@cs.jp.fujitsu.com

■ タイムスケジュール

タイムテーブル	内容
13:30～13:40	開催の挨拶 ソフトウェアオープンイノベーション事業本部 本部長 粟津より、開催のご挨拶を申し上げます。
13:40～13:55	 Session1 少子高齢化解決への行政サービスのデジタル化支援 【事例】「しまね子育て応援パスポートCOCCOLO(こっころ)を支えるソフトウェア」 島根県様では、子育て世帯を支える「しまね子育て応援パスポート」を、従来のプラスチックカードに加えてスマホアプリとしても提供し、利用者がいつでも利用できるようサービス強化に取り組まれました。デジタルサービスとして提供するためには、自治体クラウド上に24時間365日安定して稼働するシステムを構築する必要があり、その中核となるデータベースには、オープンソースソフトウェア活用要件をふまえ、Fujitsu Enterprise Postgresを選定されました。本セッションでは、「しまね子育て応援パスポート」の事例解説から、データベース選定のポイントや活用パターンをご紹介します。
13:55～14:35	 Session2 ハイブリッド・マルチクラウドで起きうるセキュリティの脅威からデータを守る！ ～富士通の“オンリーワン”なPostgreSQL～ お客様のイノベーションを最大化していくためには、セキュリティを重要な要素と捉えて持続可能なシステムを構築していく必要があります。一方でセキュリティリスクは、いまだ高いままであり、セキュリティ被害が大きな社会課題となっています。セキュリティの脅威からデータを守るために、データベースのセキュリティ対策は重要なポイントです。富士通のPostgreSQLは、万が一不正アクセス被害にあった場合の情報漏えいを防止するためのデータ暗号化をはじめ、セキュリティ機能を継続して強化しています。本セッションでは、お客様が選択されるどの環境でもセキュアなデータ運用を実現する最新技術を解説いたします。また、PostgreSQLコミュニティ活動で貢献度が高く評価されている取組みについてもご紹介します。
14:35～15:15	 Session3 エンドポイント起点のセキュリティを実現する富士通の要素技術 情報セキュリティの確保は全てのお客様にとって必要不可欠な課題になっています。一方で働き方改革によるハイブリッドワークなど多様な利用環境が増え、過失・故意などによる人的要因の事故などのセキュリティリスクが高まっており、セキュリティガバナンスを維持する困難さは日々増してきています。特にPC持ち出し時の紛失対策として情報漏えいリスクを防止するPC内のデータレス化、ゼロトラスト運用のセキュリティ強化と管理者の運用負荷増加のトレードオフ緩和などが求められています。本セッションでは、業務利用として多く稼働しているWindows環境において、利用者に意識させずにセキュリティ確保を実現するOS制御、パッチ適用の最適化技術などについてSystemwalker Desktopシリーズを通して解説します。
15:25～16:05	 Session4 【特別講演】「AIとDXによる情報テクノロジーは、日本の産業をどう変えるのか」 作家・ジャーナリスト 佐々木 俊尚 氏 【講演概要】 生成AIの驚くべき進化によって、テクノロジーが劇的に産業や社会を推進する未来が現出しつつある。AIを核としたDXは、どのように産業構造を変え、現代社会に影響を与えるのか。都市空間の変容やオープンイノベーションの可能性にも踏み込みつつ、その地平をくわしく展望する。
16:05～16:45	 Session5 コンテナ環境でのJavaチューニング技術 インフラリソースの効率的な活用や開発の効率性を上げるため、アプリケーションの運用において、Kubernetesなどのコンテナ環境の活用が進んでいます。しかし、コンテナ環境でアプリケーションを運用する際には、CPUやメモリなどのリソース管理が通常のOSとは異なるため、これらを考慮したチューニングが必要となります。本セッションでは、デモンストレーションを交えて、これらのチューニングポイントについてJava Community Process Executive Committeeの委員から解説します。これからJavaアプリケーションをコンテナ上で動作させようとしている方、または、これから富士通のJavaアプリケーションサーバーであるEnterprise Application Platformをコンテナ環境に導入しようとしている方にお勧めです。
16:45～17:25	 Session6 IT人材不足に備える、持続可能な基幹システムにおけるクラウド移行の助所 本セッションでは、クラウドが提供するインフラとサービスを活用すると共に、PRIMECLUSTERを用いた障害発生時に重要なネットワーク・ストレージの高信頼化設計技法、障害を確実に捕捉するアプリ監視の技術、さらに、Systemwalker Centric Managerによる運用管理も含め、安定稼働を実現する手法を事例としてご紹介します。
17:25～17:30	クロージング

各セッションのタイトル・内容は変更となる可能性がございます。あらかじめご了承ください。